

2023年12月期第2四半期 決算説明会資料 荏 原(6361)

2023年8月14日

Looking ahead, going beyond expectations

Ahead > Beyond

株式会社 荏原製作所

目次



当決算におけるポイント	P3	4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗	P20
1. FY23 1-2Q連結決算サマリ		5. 補足資料	
·連結業績	P5	·受注高	P26
・セグメント別	P6	•売上収益	P27
·営業利益増減分析	P7	, <u> </u>	
·地域別売上収益	P8	•営業利益	P28
2. FY23 1-2Qセグメント別業績		•受注残高	P29
•建築•産業	P10	•地域別売上収益	P30
・エネルギー	P11	・サービス&サポート(S&S)売上収益	P31
・インフラ	P12	•貸借対照表	P32
•環境 	P13	・キャッシュ・フロー	P33
•精密•電子	P14	•資本的支出、減価償却費、研究開発費	P34
3. FY23 業績予想			
•連結業績	P16	•ESG Topics	P35
・セグメント別	P17	・事業セグメントの変更	P36
•営業利益増減分析	P18		

■ 略語の説明

- FY:会計年度(例「FY23」は2023年12月期会計年度)
- 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している
 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している
- 本決算説明会資料より、2023年1月の新セグメント移行に伴い概算表記していたFY22業績数値は実績値へ変更している

決算におけるポイント



FY23 1-2Q業績

		前年同期比*	前回計画比*
受注高	2 676 倍田	-317 億円	-48 億円
义/工同	3,676 億円 3,638 億円	-7.9%	-1.3%
売上収益	2 620 倍田	+514 億円	+28 億円
元上収益	3,030 18口	+16.5%	+0.8%
営業利益	337 億円	+65 億円	+18 億円
	337 [忠门]	+24.2%	+5.8%
営業利益率	9.3%	+0.6pts	+0.5pts

FY23 業績予想

		前期比*	前回計画比*
受注高	7,630 億円	-522 億円	+230 億円
义冮同	7,030 1总门	-6.4%	+3.1%
売上収益	7,470 億円	+661 億円	- →
元工収益	7,470 1忠门	+9.7%	<u>-</u>
営業利益	710 億円	+4 億円	<u>-</u> →
当来们位 	/ 10 応]	+0.6%	<u>-</u>
営業利益率	9.5%	-0.9pts	-

トピックス

FY23 1-2Q 業績

- 受注高は高水準を維持し、売上収益と営業利益は2Qとして過去最高額を更新
- 受注高は精密・電子で大幅に減少したものの、エネルギー、建築・産業などがカバーし、全体として高水準を維持
- 営業利益は固定費の増加を増収効果でカバーし、増益

FY23 業績予想

- エネルギーの好調な上半期業績の進捗等を踏まえ、同セグメントの通期業績予想を上方修正
- 精密・電子における市場減速及び業績見通しを踏まえ、同セグメントの通期業績予想を下方修正
- 上記の結果、前回公表した業績予想に対して、受注は増加、売上収益、営業利益については据え置き

その他

■ 今期より対面市場軸での新セグメント(旧風水力を3セグメントに細分化)にて業績開示を開始

^{* 7}は+5%以上、>は-5%以上の変化、→は変化が±5%未満



- 2. FY23 1-2Q セグメント別業績
- 3. FY23 業績予想
- 4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗
- 5. 補足資料

連結業績



(単位:億円) 発表日(年/月/日)	FY22 1-2Q	FY23 1-2Q	増減	増減率	FY23 計画 23/05/15	増減	増減率
	а	b	b-a	(b-a)/a	С	b-c	(b-c)/c
受注高	3,994	3,676	-317	-7.9%	3,725	-48	-1.3%
売上収益	3,124	3,638	+514	+16.5%	3,610	+28	+0.8%
営業利益	271	337	+65	+24.2%	319	+18	+5.8%
営業利益率	8.7%	9.3%	+0.6pts		8.8%	+0.5pts	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	180	205	+25	+13.9%	192	+13	+7.2%
為替レート							
対米ドル (円)	122.89	134.79	+11.90		130.00	+4.79	
対ユーロ(円)	134.22	145.66	+11.44		137.00	+8.66	
対人民元(円)	18.97	19.46	+0.49		19.50	-0.04	

セグメント別



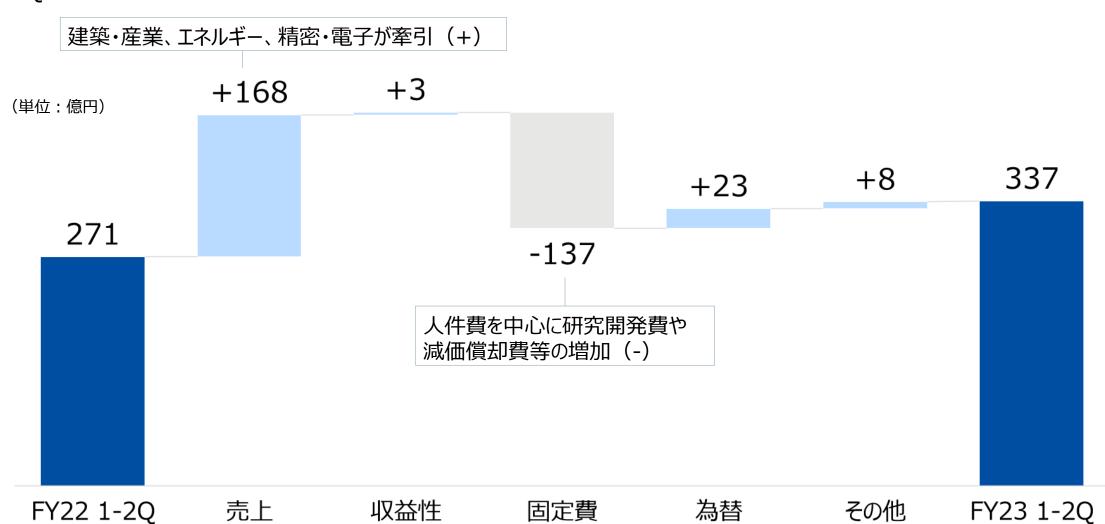
(単位:億円) 発表日(年/月/日)		FY22 1-2Q	FY23 1-2Q	増減	増減率
		a	b	b-a	(b-a)/a
	受注高	3,994	3,676	-317	-7.9%
連結合計	売上収益	3,124	3,638	+514	+16.5%
	営業利益	271	337	+65	+24.2%
	営業利益率	8.7%	9.3%	+0.6pts	
	受注高	1,026	1,110	+84	+8.2%
建築•産業	売上収益	895	1,065	+169	+18.9%
是未 注来	営業利益	48	67	+19	+39.9%
	営業利益率	5.4%	6.3%	+0.9pts	
	受注高	592	1,014	+422	+71.4%
エネルギー	売上収益	640	794	+153	+24.0%
エイソレー	営業利益	42	73	+30	+72.8%
	営業利益率	6.6%	9.2%	+2.6pts	
	受注高	259	252	-6	-2.6%
インフラ	売上収益	255	292	+37	+14.7%
1223	営業利益	41	44	+3	+7.4%
	営業利益率	16.1%	15.0%	-1.1pts	
	受注高	462	492	+30	+6.6%
環境	売上収益	364	309	-55	-15.1%
以 現	営業利益	9	26	+16	+176.9%
	営業利益率	2.6%	8.5%	+5.9pts	
	受注高	1,646	799	-846	-51.4%
精密・電子	売上収益	960	1,169	+209	+21.8%
相省"电丁	営業利益	139	126	-13	-9.4%
	営業利益率	14.5%	10.8%	-3.7pts	
	受注高	7	5	-1	-19.7%
その他、調整	売上収益	6	6	-0	-11.2%
CVIU、神雀	営業利益	-8	0	+8	-
	営業利益率	-119.8%	9.1%	+128.9pts	

E/22 4 20 EL E		
FY23 1-2Q計画 23/05/15	増減	増減率
С	b-c	(b-c)/c
3,725	-48	-1.3%
3,610	+28	+0.8%
319	+18	+5.8%
8.8%	+0.5pts	
1,050	+60	+5.8%
1,020	+45	+4.4%
70	-2	-3.8%
6.9%	-0.6pts	
950	+64	+6.8%
730	+64	+8.9%
40	+33	+83.0%
5.5%	+3.7pts	
240	+12	+5.3%
330	-37	-11.3%
43	+1	+2.4%
13.0%	+2.0pts	
480	+12	+2.7%
325	-15	-4.7%
20	+6	+31.6%
6.2%	+2.3pts	
1,000	-200	-20.1%
1,200	-30	-2.6%
150	-23	-15.9%
12.5%	-1.7pts	
5	+0	+18.2%
5 -4	+1	+24.3%
-4	+4	-
-80.0%	+89.1pts	

営業利益増減分析

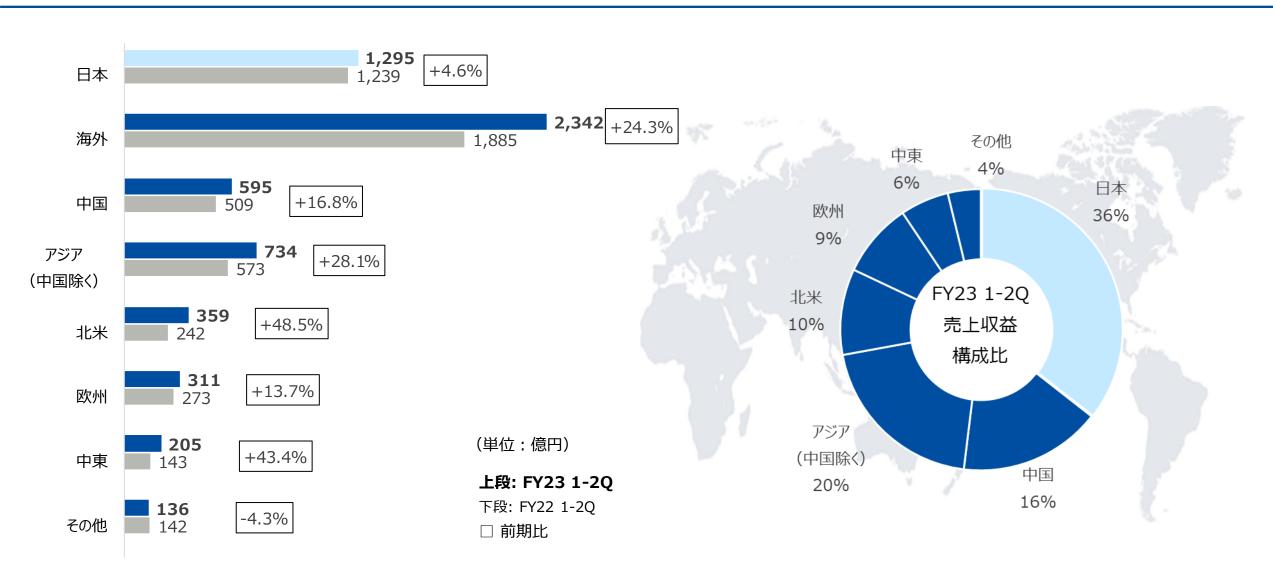


1-2Qは増収に加え、円安も寄与し増益



地域別売上収益





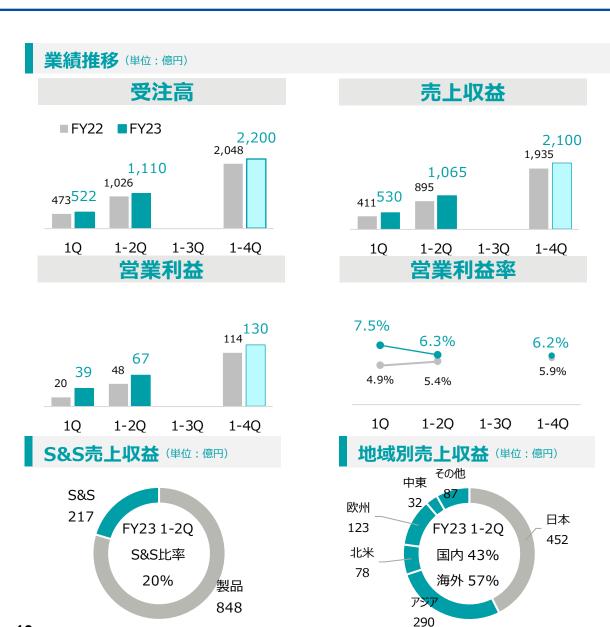
※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す



- 1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ
- 2. FY23 1-2Q セグメント別業績
- 3. FY23 業績予想
- 4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗
- 5. 補足資料

建築・産業





ポイント

市場環境

■ 北米や欧州、中東、中国においてGDP成長は引き続き 鈍化傾向だが、国内の設備投資は堅調に推移

受注高

- 国内での低環境負荷製品の受注好調や中国の需要回復、 昨年買収した北米ポンプメーカの連結化により増加
- 欧州や中東、東南アジアでは需要が弱含んでいる

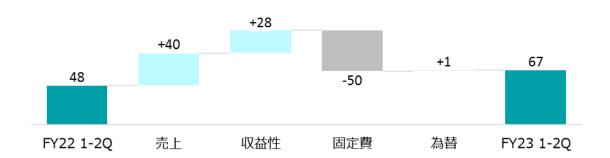
売上収益

- グローバルで増収傾向にあり、特に国内や中国が好調
- 買収効果により北米で増収

営業利益

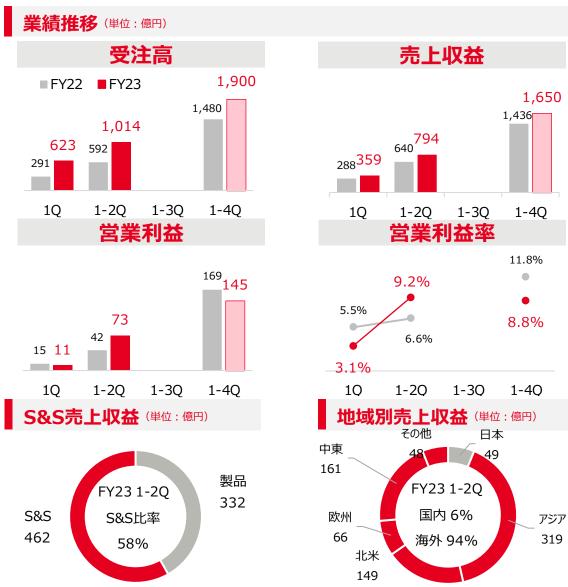
- 増収効果(+)
- 価格改定効果による収益性改善(+)
- 人件費や研究開発費が増加(-)

営業利益増減要因分析(単位:億円)



エネルギー





ポイント

市場環境

- LNG市場では北米で案件に活発な動きがみられる
- 石油・ガスのダウンストリーム市場では、北米やアジア、中東 で石油化学案件に動きがみられる

受注高

- 製品は北米や中東、アジアで大型案件を複数受注し増加
- S&Sは1-20は堅調に推移
- 中国では石油化学や電力向けが好調

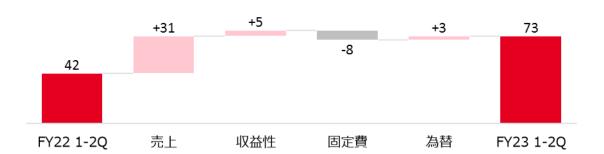
売上収益

- 中東や北米、アジアで増収
- S&S売上が増加、製品の売上も堅調

営業利益

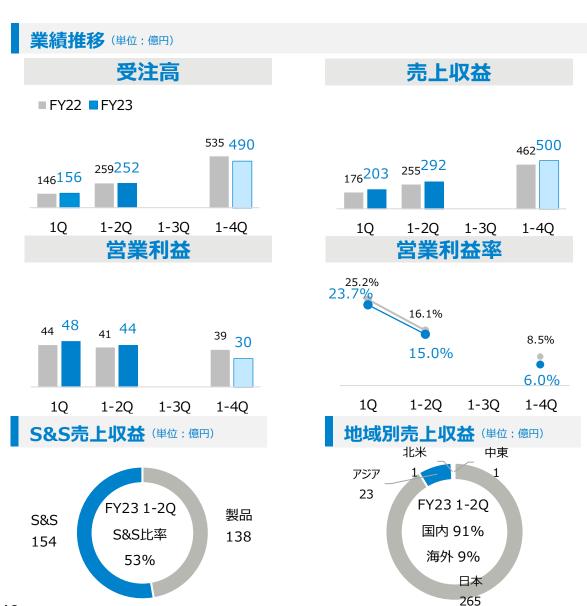
- S&Sを中心とした増収効果(+)
- 選別受注やS&Sを中心とした価格改定効果による 収益性改善(+)
- サービス拠点の統廃合コストや研究開発費が増加(-)

営業利益増減要因分析(単位:億円)



インフラ





ポイント

市場環境

■ 国内の公共ポンプ市場は堅調に推移 「国土強靭化5か年加速化対策」により事前防災、老朽 化対策への投資が堅調に推移する見込み

受注高

- 海外は水インフラ向けで受注が増加
- 国内は減少、前年は大型案件を受注

売上収益

- 国内公共向けは増加
- 海外は中国向けで増収
- S&Sは収益性の高い案件を含め増収

営業利益

- 増収効果(+)
- 人件費やシステム投資費用の増加(-)

営業利益増減要因分析 (単位:億円)



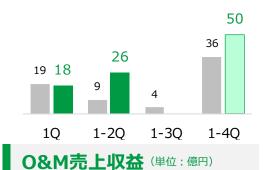
環境

















ポイント

市場環境

公共向け廃棄物処理施設の新規建設需要は例年どおり 安定的に推移

受注高

■ 大型案件を2件受注

*DBO: EPC及びプラントの長期運営・管理

FY22 1-2Q	FY23 1-2Q
長期包括運転・管理契約:2件	・ごみ処理施設DBO*:1件
ぶの理施設延命化:1件	・長期包括運転・管理契約:1件

売上収益

■ EPC*の売上が減少

*EPC: プラントの設計・調達・建設

過年度の受注タイミングによりEPC売上が谷間

■ オペレーション&メンテナンス(O&M)の売上が増加

営業利益

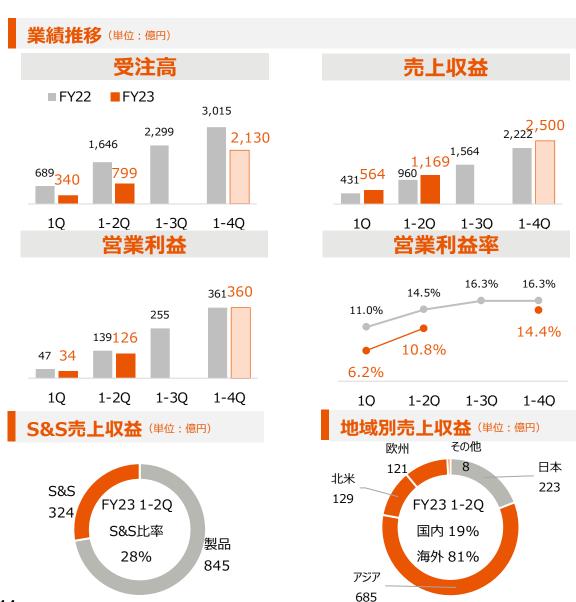
- 減収の影響(-)
- O&M売上比率が上昇(+)
- 売電事業の収益性が改善(+)
- 研究開発費等の増加(-)

営業利益増減要因分析(単位:億円)



精密・電子





ポイント

市場環境

- 半導体市場では設備投資の延期や一部中止する動きが 見られ、工場の稼働を調整する動きも続いている
- 半導体製造装置市場は調整局面にあり、需要が減少

受注高

- コンポーネント、CMP共に減少
- 顧客側での工場稼働率低下によりS&Sの需要が減少

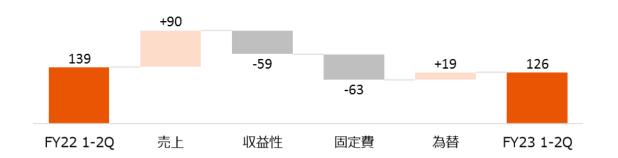
売上収益

- コンポーネント、CMP共に増収
- S&Sが伸び悩んだが、製品が増加し増収

営業利益

- 増収効果(+)
- 案件ミックスが悪化(-)
- S&S売上比率の低下により収益性が低下(-)
- 人件費や在庫管理コストが増加(-)

営業利益増減要因分析(単位:億円)





- 1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ
- 2. FY23 1-2Q セグメント別業績
- 3. FY23 業績予想
- 4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗
- 5. 補足資料

3. FY23 業績予想

連結業績



	1-4Q							
(単位:億円)	FY22 実績 FY23 IE		FY23 計画	前期	比	旧計画比		
発表日(年/月/日)		23/05/15	23/08/14	増減	増減率	増減	増減率	
	a	b	С	c-a	(c-a)/a	c-b	(c-b)/b	
受注高	8,152	7,400	7,630	-522	-6.4%	+230	+3.1%	
売上収益	6,808	7,470	7,470	+661	+9.7%	-	-	
営業利益	705	710	710	+4	+0.6%	-	-	
営業利益率	10.4%	9.5%	9.5%	-0.9pts	-	-	-	
親会社の所有者に帰属する当期利益	504	523	523	+18	+3.6%	-	-	
ROIC*	11.6%	10.4%	10.4%	-1.2pts		-		
ROE	15.0%	13.9%	13.9%	-1.1pts		-		
1株当たり年間配当金	193	195	195	+2		-		
為替レート								
対米ドル(円)	131.37	130.00	130.00	-1.37		-		
対ユーロ(円)	137.97	137.00	137.00	-0.97		-		
対人民元(円)	19.50	19.50	19.50	<u>-</u>		_		

(計算式) NOPLAT(みなし税引後営業利益)÷{有利子負債(期首期末平均)+親会社の所有者に帰属する持分(期首期末平均)}

^{*}ROIC: ROIC計算式に関してFY23より以下のとおり分子を従来の「親会社の所有者に帰属する当期利益」から「NOPLAT(みなし税引後営業利益)」に変更しており、FY22のROICについても比較のため新計算式を用いている(FY22 従来ROICでは11.2%)

3. FY23 業績予想

セグメント別

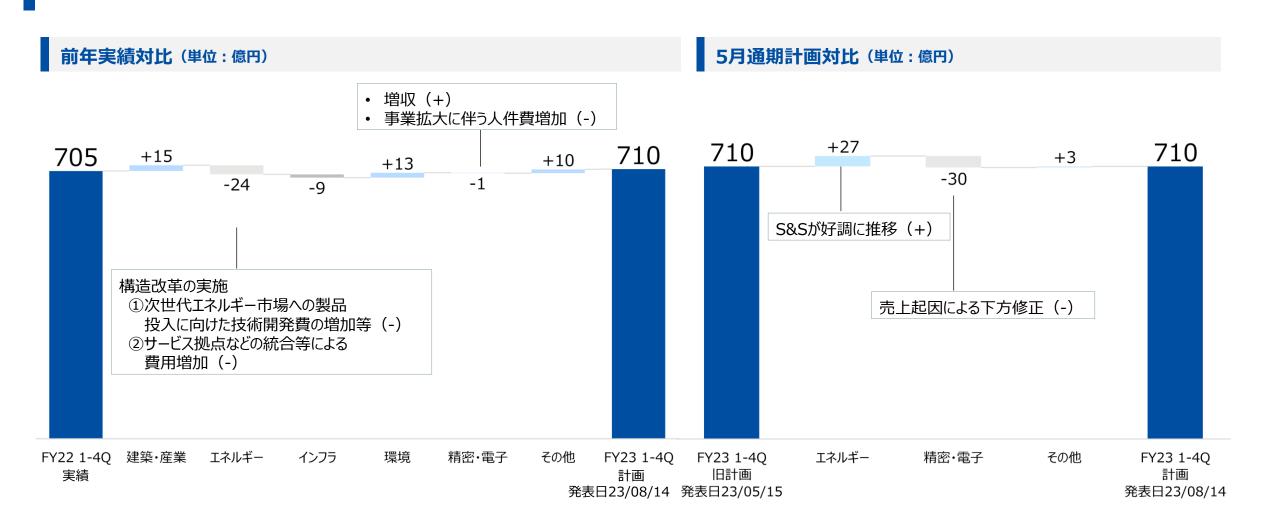


					1-4Q			
(単位:億円)		FY22 実績	FY23 旧計画	FY23 計画	前期	比	旧計画	此
発表日(年/月/日)			23/05/15	23/08/14	増減	増減率	増減	増減率
		a	b	С	c-a	(c-a)/a	c-b	(c-b)/b
	受注高	8,152	7,400	7,630	-522	-6.4%	+230	+3.1%
連結合計	売上収益	6,808	7,470	7,470	+661	+9.7%	-	-
建和口司	営業利益	705	710	710	+4	+0.6%	-	-
	営業利益率	10.4%	9.5%	9.5%	-0.9pts		-	
	受注高	2,048	2,200	2,200	+151	+7.4%	=	=
Z= 统、产 业	売上収益	1,935	2,100	2,100	+164	+8.5%	-	=
建築•産業	営業利益	114	130	130	+15	+14.0%	-	-
	営業利益率	5.9%	6.2%	6.2%	+0.3pts		-	
	受注高	1,480	1,600	1,900	+419	+28.4%	+300	+18.8%
エネルギー	売上収益	1,436	1,550	1,650	+213	+14.9%	+100	+6.5%
エイル十一	営業利益	169	118	145	-24	-14.4%	+27	+22.9%
	営業利益率	11.8%	7.6%	8.8%	-3.0pts		+1.2pts	
	受注高	535	490	490	-45	-8.6%	=	-
ハコニ	売上収益	462	500	500	+37	+8.1%	-	=
インフラ	営業利益	39	30	30	-9	-23.6%	-	=
	営業利益率	8.5%	6.0%	6.0%	-2.5pts		-	
	受注高	1,058	900	900	-158	-14.9%	=	-
理培	売上収益	737	710	710	-27	-3.7%	=	-
環境	営業利益	36	50	50	+13	+36.3%	-	=
	営業利益率	5.0%	7.0%	7.0%	+2.0pts		-	
	受注高	3,015	2,200	2,130	-885	-29.4%	-70	-3.2%
	売上収益	2,222	2,600	2,500	+277	+12.5%	-100	-3.8%
精密・電子	営業利益	361	390	360	-1	-0.5%	-30	-7.7%
	営業利益率	16.3%	15.0%	14.4%	-1.9pts		-0.6pts	
	受注高	13	10	10	-3	-27.0%	-	-
マクチ 国東	売上収益	14	10	10	-4	-32.4%	-	=
その他、調整	営業利益	-15	-8	-5	+10	-	+3	-
	営業利益率	-104.3%	-80.0%	-50.0%	+54.3pts		+30.0pts	

営業利益増減分析



セグメント内では業績予想の修正はあるが、全社営業利益予想は710億円を据え置き





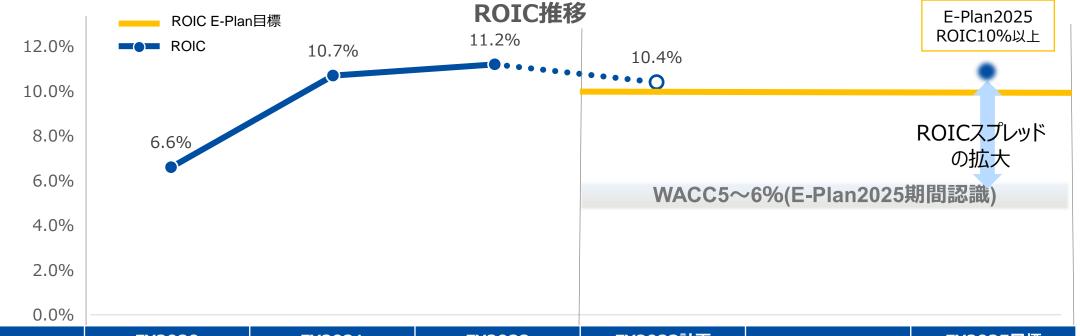
- 1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ
- 2. FY23 1-2Q セグメント別業績
- 3. FY23 業績予想
- 4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗
- 5. 補足資料

4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗

資本収益性の維持・向上



WACCを上回るROICの維持・向上とROICスプレッド拡大に繋がる事業戦略および資本政策の実行により持続的な企業価値向上を目指す



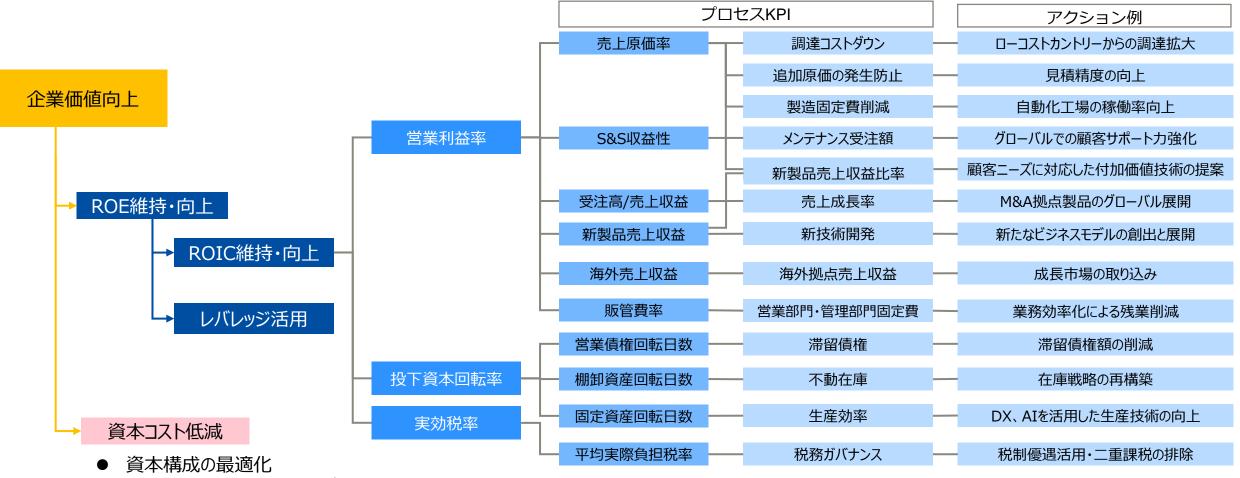
	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023計画		FY2025目標
ROIC	6.6%	10.7%	11.2%	10.4%		10%以上
親会社の所有者に 帰属する当期利益*	244億円	436億円	504億円	-		-
投下資本	3,685億円	4,061億円	4,518億円	-		-
WACC (自社認識)			5~	6%		

4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗

ROICツリー



- ROE/ROIC経営目標に対して事業別ROICを適切に管理し、資本効率の改善を図る
- 資本市場との積極的な対話を行い、資本コストの低減に向けた施策を実行

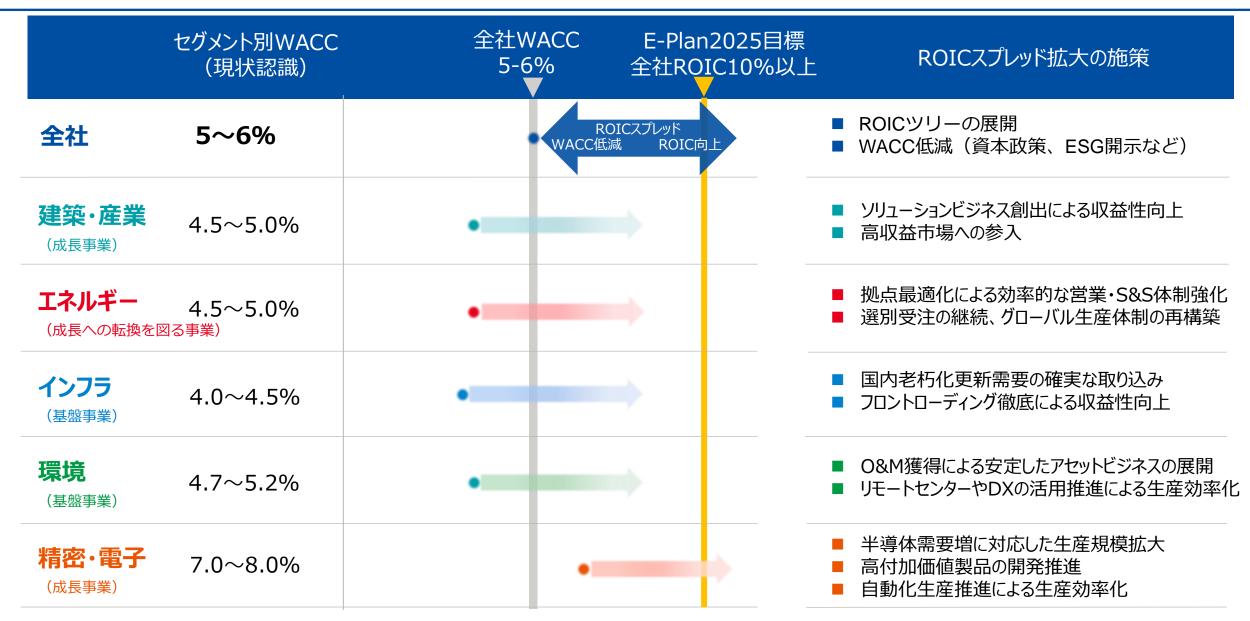


- ハードルレート適用による投資マネジメントの徹底
- 事業運営上の長期リスク低減(BCP、サプライチェーンマネジメント強化など)
- 財務・非財務情報における開示の拡充

4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗

セグメント別ROICスプレッド





ROICスプレッド拡大に向けた取り組み



建築・産業

■ 工作機械向けポンプ事業の譲受契約締結

2023年7月 当社グループ会社EBARA Pumps Europe S.p.A (イタリア) とSKFグループ(スウェーデン)の子会社である SKF Lubrication Systems Germany GmbH (ドイツ) との間で、工作機械向けポンプ事業の譲受契約を締結

対象 譲受事業

 SKF Lubrication Systems Germany GmbH社の工作機械向けスクリュー式及び シールレス浸漬式ポンプ事業

譲受完了時期

■ 2023年下期予定

狙い

荏原グループのリソース・ネットワークを活用して 工作機械のグローバル市場へと参入し、新たな 高付加価値製品とサービスを提供する

- ポンプ製品ラインナップの強化
- 欧州工作機械市場の商流獲得

プロセスKPI: アクション例:

売上成長率/海外拠点売上収益

M&A拠点製品のグローバル展開

海外拠点売上収益

成長市場の取り込み

エネルギー

■ S&S拠点の最適化

拠点配置の再検討、サービス員配置の最適化により収益の最大化を図る

■ サウジアラビアにS&S拠点を設置 (FY23 2Q)



■ カナダのS&S拠点の一部を閉鎖 (FY23 3Q予定)

■ インドネシアのS&S拠点を移設・拡充 (FY24 1Q予定)

完成予定イメージ図

プロセスKPI:

メンテナンス受注額

アクション例:

グローバルでの顧客サポート力強化

ROICスプレッド拡大に向けた取り組み



精密·電子

■ CMP生産棟の新設

長期的な半導体需要拡大を見据えた生産能力増強のため、 熊本事業所に新たな生産棟(K3)の建設を開始 (2024年竣工予定)

- 生産能力を従来比1.5倍以上に拡大。更なる事業拡大と 顧客ニーズへの柔軟な対応を実現
- IoT技術を活用した生産シ ステムの採用でDXを推進し、 高効率生産ラインを確立

プロセスKPI: 売上成長率/生産効率

アクション例: DXを活用した生産技術の向上



完成予定イメージ図

■ マレーシアドライ真空ポンプオーバーホール工場の本格稼働

東南アジア地域における新たなS&S拠点の展開とマレーシアを中心とした東南アジア地域全体のサプライチェーンを強化

プロセスKPI:

メンテナンス受注額

アクション例:

グローバルでの顧客サポート力強化

■ 装置系開発棟の新設

主力製品であるCMP装置をはじめとする装置事業の強化に向け、 藤沢事業所に新たな開発棟の建設を開始 (2025年夏竣工予定)

- 開発エリアの拡充、IoTネットワークの整備による開発の加速
- 顧客へのプロセス評価・提案力の強化
- 最先端の開発装置、検査装置、ユーティリティ環境を活用した次世代のプロセス開発



完成予定イメージ図

プロセスKPI:

新製品売上収益比率

アクション例:

顧客ニーズに対応した付加価値技術の提案



- 1. FY23 1-2Q 連結決算サマリ
- 2. FY23 1-2Q セグメント別業績
- 3. FY23 業績予想
- 4. 中期経営計画「E-Plan2025」の進捗
- 5. 補足資料

受注高



旧セグメント(~FY22)

	FY22						
(単位:億円) 発表日(年/月/日)	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q			
連結合計	1,770	3,994	5,945	8,152			
風水力	911	1,878	2,866	4,064			
ポンプ	578	1,156	1,726	2,274			
コンプレッサ・タービン	193	412	652	1,110			
冷熱	105	246	382	485			
その他	34	62	104	193			
環境プラント	163	462	768	1,058			
精密·電子	689	1,646	2,299	3,015			
コンポーネント	312	631	920	1,162			
CMP	357	977	1,330	1,792			
その他	20	37	48	60			
その他	4	7	10	13			

	FY22				FY23			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 計画	1-4Q 計画
	10	1 20	1 30	1 70	10	1 20	23/05/15	23/08/14
連結合計	1,770	3,994	5,945	8,152	1,979	3,676	7,400	7,630
建築•産業	473	1,026		2,048	522	1,110	2,200	2,200
エネルギー	291	592		1,480	623	1,014	1,600	1,900
インフラ	146	259		535	156	252	490	490
環境	163	462	768	1,058	333	492	900	900
精密•電子	689	1,646	2,299	3,015	340	799	2,200	2,130
コンポーネント	312	631	920	1,162	241	423	930	850
CMP	357	977	1,330	1,792	90	349	1,200	1,170
その他	20	37	48	60	7	26	70	110
その他	4	7	10	13	2	5	10	10

売上収益



旧セグメント(~FY22)

	FY22					
(単位:億円) 発表日(年/月/日)	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q		
連結合計	1,528	3,124	4,800	6,808		
風水力	876	1,792	2,702	3,833		
ポンプ	516	974	1,472	2,090		
コンプレッサ・タービン	224	506	770	1,117		
冷熱	101	247	365	486		
その他	34	63	93	139		
環境プラント	216	364	522	737		
精密•電子	431	960	1,564	2,222		
コンポーネント	219	458	731	1,014		
CMP	195	470	790	1,157		
その他	16	30	42	50		
その他	3	6	10	14		

		FY	22			FY	'23	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q		1-4Q 計画
_	_ ~				- ~		23/05/15	23/08/14
連結合計	1,528	3,124	4,800	6,808	1,840	3,638	7,470	7,470
建築•産業	411	895		1,935	530	1,065	2,100	2,100
エネルギー	288	640		1,436	359	794	1,550	1,650
インフラ	176	255		462	203	292	500	500
環境	216	364	522	737	178	309	710	710
精密·電子	431	960	1,564	2,222	564	1,169	2,600	2,500
コンポーネント	219	458	731	1,014	238	477	1,050	960
CMP	195	470	790	1,157	317	676	1,510	1,500
その他	16	30	42	50	8	15	40	40
その他	3	6	10	14	3	6	10	10

営業利益



旧セグメント(~FY22)

	FY22					
(単位:億円) 発表日(年/月/日)	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q		
連結合計	141	271	426	705		
風水力	79	127	176	320		
ポンプ	65	84	118	160		
コンプレッサ・タービン	4	21	50	132		
冷熱	2	11	10	16		
その他	6	9	-2	10		
環境プラント	19	9	4	36		
精密•電子	47	139	255	361		
その他、調整	-6	-8	-10	-15		

		FY22 FY23						
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-4Q 計画	1-4Q 計画
_							23/05/15	23/08/14
連結合計	141	271	426	705	152	337	710	710
建築•産業	20	48		114	39	67	130	130
エネルギー	15	42		169	11	73	118	145
インフラ	44	41		39	48	44	30	30
環境	19	9	4	36	18	26	50	50
精密•電子	47	139	255	361	34	126	390	360
その他	-6	-8	-10	-15	0	0	-8	-5

受注残高



旧セグメント(~FY22)

	FY22					
(単位:億円) 発表日(年/月/日)	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q		
連結合計	6,895	7,749	8,132	8,181		
風水力	2,387	2,581	2,744	2,697		
ポンプ	1,127	1,280	1,402	1,301		
コンプレッサ・タービン	1,031	1,074	1,089	1,120		
冷熱	149	148	162	142		
その他	78	77	90	132		
環境プラント	2,798	2,960	3,104	3,174		
精密•電子	1,706	2,205	2,281	2,308		
その他	2	2	1	0		

		FY	22			FY	'23	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q		1-4Q 計画
							23/05/15	23/08/14
連結合計	6,895	7,749	8,132	8,181	8,272	8,368	8,110	8,341
建築•産業	536	629		627	617	746	727	727
エネルギー	1,366	1,440		1,475	1,736	1,820	1,525	1,725
インフラ	483	511		595	513	525	585	585
環境	2,798	2,960	3,104	3,174	3,329	3,291	3,364	3,364
精密•電子	1,706	2,205	2,281	2,308	2,075	1,984	1,908	1,938
その他	2	2	1	0	0	0	0	0

地域別売上収益



旧セグメント

(単位:億円)		FY2	22		FY	23
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
風水力	876	1,792	2,702	3,833	1,094	2,152
日本	385	674	932	1,322	447	766
アジア(日本除く)	221	513	811	1,131	262	633
北米	64	131	234	343	174	230
欧州	81	190	302	401	74	189
中東	62	138	211	343	77	196
その他	60	142	210	291	58	136
環境	216	364	522	737	178	309
日本	211	343	499	701	178	298
アジア(日本除く)	4	20	23	35	0	11
精密·電子	431	960	1,564	2,222	564	1,169
日本	105	213	343	499	102	223
アジア(日本除く)	228	548	905	1,307	340	685
北米	51	111	180	233	60	129
欧州	43	82	128	167	54	121
その他	2	4	6	15	6	8

^{*}FY23 風水力の数値は旧セグメントでの参考値

(単位:億円)	FY23			
	1Q	1-2Q		
建築•産業	530	1,065		
日本	236	452		
アジア(日本除く)	135	290		
北米	36	78		
欧州	59	123		
中東	20	32		
その他	42	87		
エネルギー	359	794		
日本	18	49		
アジア(日本除く)	117	319		
北米	137	149		
欧州	15	66		
中東	55	161		
その他	14	48		
インフラ	203	292		
日本	191	265		
アジア(日本除く)	9	23		
北米	0	1		
中東	0	1		
その他	0	0		

サービス&サポート売上収益



旧セグメント

(単位:億円)			FY		FY23		
		1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
風水力	S&S売上収益	337	640	918	1,364	439	834
圧してノン	S&S比率	39%	36%	34%	36%	40%	39%
ポンプ	S&S売上収益	158	252	339	482		
ルング	S&S比率	31%	26%	23%	23%		
コンプレッサ・タービン	S&S売上収益	137	306	466	705		
コンフレッジ・ターこン	S&S比率	62%	61%	61%	63%		
△先九	S&S売上収益	35	71	98	154		
冷熱	S&S比率	35%	29%	27%	32%		
I=+++	O&M売上収益	154	247	355	509	150	255
環境	O&M比率	71%	68%	68%	69%	84%	82%
精密•電子	S&S売上収益	170	349	556	752	156	324
	S&S比率	39%	36%	36%	34%	28%	28%

^{*}FY23 風水力の数値は旧セグメントでの参考値

	(単位:億円)		FY23			
			1Q	1-2Q		
	建築•産業	S&S売上収益	108	217		
	建梁• 佐耒	S&S比率	21%	20%		
	エネルギー	S&S売上収益	214	462		
		S&S比率	60%	58%		
	インフラー	S&S売上収益	116	154		
		S&S比率	57%	53%		

貸借対照表



(単位:億円)	FY22 2Q a	FY22 4Q b	FY23 2Q c	増減 c-a	増減 c-b
資産合計	7,749	8,280	8,527	+777	+246
流動資産	5,384	5,806	5,941	+556	+134
現金及び現金同等物	1,435	1,161	1,436	+0	+275
営業債権	2,124	2,530	2,286	+162	-243
棚卸資産	1,543	1,813	1,959	+415	+145
その他流動資産	281	302	259	-21	-42
非流動資産	2,364	2,473	2,585	+221	+112
負債合計	4,240	4,583	4,599	+358	+16
営業債務	1,572	1,746	1,505	-67	-241
有利子負債	1,178	1,193	1,257	+79	+64
その他負債	1,489	1,643	1,836	+346	+193
資本合計	3,508	3,697	3,927	+418	+229
親会社所有者帰属持分	3,412	3,599	3,823	+410	+223
その他資本	96	97	103	+7	+6
親会社所有者帰属持分比率	44.0%	43.5%	44.8%	+0.8pts	+1.3pts
D/Eレシオ	0.35	0.33	0.33	-0.02	-

キャッシュ・フロー



(単位:億円)		1-2Q		1-4Q				
	FY22	FY23	増減	FY22	FY23 計画	FY23 計画	増減	増減
発表日(年/月/日)					23/05/15	23/08/14		
	а	b	b-a	С	d	e	e-c	e-d
営業活動CF	284	521	+236	370	500	550	+179	+50
投資活動CF	-140	-159	-19	-383	-570	-470	-86	+100
フリーCF	144	362	+217	-12	-70	80	+92	+150
財務活動CF	-165	-116	+48	-237	200	0	+237	-200

資本的支出・減価償却費・研究開発費



(単位:億円)	1-2Q	1-4Q	
	FY22	FY22	
発表日(年/月/日)			
	a	b	
資本的支出	122	275	
風水力	48	109	
環境プラント	13	20	
精密•電子	20	63	
その他、調整	38	81	

減価償却費	111	240
風水力	55	119
環境プラント	4	8
精密·電子	36	73
その他、調整	15	38
	*	

研究開発費	70	152
風水力	34	74
環境プラント	4	11
精密•電子	31	66

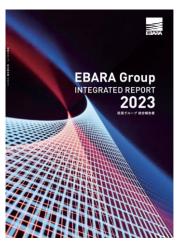
(単位:億円)	1-2Q		1-4Q			
発表日(年/月/日)	FY23	増減	FY23 計画 23/05/15	FY23 計画 23/08/14	増減	増減
	С	c-a	d	е	e-b	e-d
資本的支出	160	+37	560	460	+184	-100
建築•産業	34		90	90		-
エネルギー	22		80	80		-
インフラ	2		20	20		-
環境	3	-10	30	30	+9	-
精密·電子	51	+30	260	160	+96	-100
その他、調整	45	+6	80	80	-1	-
減価償却費	129	+17	265	265	+24	-
建築•産業	32		60	60		-
エネルギー	24		40	40		-
インフラ	4		10	10		-
環境	3	-0	10	10	+1	-
精密•電子	38	+1	80	80	+6	-
その他、調整	25	+10	65	65	+26	-
研究開発費	88	+17	210	210	+57	_
建築•産業	21		50	50		-
エネルギー	17		30	30		-
インフラ	3		10	10		-
環境	7	+3	10	10	-1	-
精密·電子	38	+7	110	110	+43	-

ESG Topics



統合報告書2023 (2023年7月26日)

- 新中期経営計画「E-Plan2025」における経営戦略
- E-Plan2025期間における非財務KPIの開示
- 保有技術と人材データを見える化した技術元素表
- 取締役会の実効性の向上とG to V (Governance to Value) に向けた取り組み状況







参照URL:

TCFD提言に基づく情報開示 (2023年7月14日)

新たに以下の主要市場における気候変動関連のリスク・機会の シナリオ分析および財務インパクトを追加開示

- 建築・産業設備市場
- 水インフラ市場
- 固形廃棄物処理市場



参照URL:

https://www.ebara.co.jp/corporate/newsroom/release/company/detail/1211751 1673.html

2022年度ESGデータ集(2023年5月24日)

荏原グループの2022年度ESGデータの新規追加開示

E: 水 再生·循環使用量

S: グローバル・キー・ポジション女性ポジション比率

S: 男女賃金差異

S: 男性育児休業取得率

参照URL:

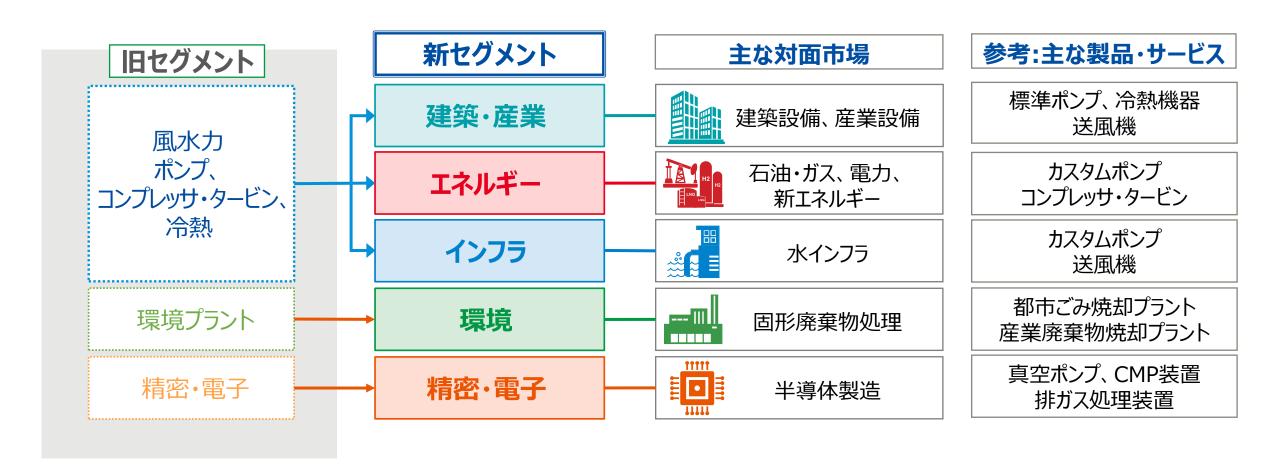
https://www.ebara.co.jp/sustainability/data/information/esg.html

https://www.ebara.co.jp/ir/library/annual-report/index.html

事業セグメントの変更



2023年1月1日より、事業セグメントを製品軸セグメントから対面市場軸セグメントへ変更





免責事項

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。